

高等司法研究科教授会議事要旨

日 時：令和4年12月15日（木） 17：32～18：52

開催方法：

・教授会：オンライン（Webex）

・可否投票：教授会の最後に Zoom に切り替えてオンライン投票

場 所：各自 Webex 及び Zoom 利用可能な場所

出席者：21名（定足数12名）

（協議事項）

1. 教授の選考について

研究科長から、准教授3名について、先の教授会懇談会において教授昇任人事を進めることが了承されたことに伴い、手続を開始することの提案があり、提案の可否に係る投票の方法については教授会の最後に Zoom に切り替えてオンライン投票とすることとし、投票の結果、いずれも提案が可とされ、採用のための審査を開始することとした。引き続き、研究科長から審査委員の選出について説明があり、審査委員選出に係る投票の方法については教授会終了後、投票箱（置き箱）にて実施することとした（なお、投票の結果、それぞれ教授3名を審査委員として選出した）。

2. 特任教員の採用について

研究科長から、令和5年4月1日付け特任教員の採用について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。

3. 香川大学法学部との法曹養成連携協定の締結について

研究科長から、香川大学法学部との法曹養成連携協定の締結について、資料に基づき説明があり、アドミッション委員会委員長から、これまでの協議及び手続の状況について補足説明があり、併せて、協定案の細部については現在も調整中のため、所要の修正についてはWGに一任願いたい旨説明があり、協議の結果、承認した。

4. 令和5年度非常勤講師等委嘱計画について

教務委員会委員長から、令和5年度非常勤講師等委嘱計画について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。

5. 令和5年度招へい教員の受入れについて

教務委員会委員長から、令和5年度招へい教員の受入れについて、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。

6. 客員教授及び招へい教授・准教授の称号付与について

研究科長から、新規1名及び継続17名への客員教授の称号付与、新規5名及び継続24名への招へい教授の称号付与、新規4名及び継続8名の招へい准教授の称号付与について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。

7. 「非常勤講師に客員教授の称号を付与する場合の推薦基準について」の一部改正について

研究科長から、同推薦基準の一部改正について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。

8. 「競争的研究費の直接経費から研究以外の業務の代行に係る経費を支出する制度を利用する場合に関する申し合わせ」の制定について

研究科長から、同申し合わせの制定について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。

9. サバティカル制度利用期間の短縮について

研究科長から、令和4年秋～冬学期から令和5年春～夏学期までの1年間のサバティカル制度利用が承認されている教授から、この度、半年のサバティカル期間で十分に研究成果が上げられる見込みとなり、残りのサバティカル期間を必要としなくなったため、期間を令和4年秋～冬学期の半年間に短縮したいとの申し出があった旨説明があり、協議の結果、承認した。

(報告事項)

1. 学内委員会等報告

- ① 部局長会議（11／16）
- ② 教育研究評議会（11／16）
- ③ 人文社会科学系戦略会議（11／9）
- ④ 教育課程委員会（11／11）
- ⑤ 豊中地区事業場安全衛生委員会（11／25）
- ⑥ 入試委員会（12／2）

2. 高等司法研究科運営委員会（12／8）報告

3. 高等司法研究科教務委員会（12／1）報告

4. 高等司法研究科アドミッション委員会（11／22, 12／5）報告

5. 高等司法研究科FD・教育企画委員会（12／1）報告

6. 助教の公募について

7. 総長・理事等による部局運営方針等ヒアリングについて

8. その他

① 教員の海外渡航について

研究科長から、教員の海外渡航について今回、該当がなかった旨報告があった。

② 今年度の教授会開催方法について

研究科長から、令和5年1月19日（木）及び2月16日（木）はオンライン（Webex）開催、3月6日（月）は対面（参集）開催の旨報告があった。

③ 来年度の夏季一斉休業（8/14（月）、8/15（火）、16（水）の3日間）について